

Styling Kit KF-07AX

マッドフラップセット No.KFA1 V3 440

取付・取扱説明書

AutoExe

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2丁目15番8号
TEL: 03-6458-7251 FAX: 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ“マッドフラップセット KF-07AX”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

取り付け作業を開始する前に、本説明書を必ず読んでください。

常に最良の状態でご使用いただくために、本説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で正しい取付を行ってください。

適合車種

CX-5 (KF系)

ご注意とお願い

●本説明書に示されている △ 警告マークと △ 注意マークは、取り付け、取扱いに関する安全上の事項ですので、必ず厳守してください。

⚠ 警告：警告事項を守らないと生命の危険、または重大な障害につながる恐れがあります。

⚠ 注意：注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷したりするなどの恐れがあります。

●本説明書で締付けトルクを記載している部位は、トルクレンチを使用して規定トルクで締付け作業を行ってください。尚、締付けトルク値に（ ）がついている場合は、参考値であり、トルクレンチでの締付けは必修ではありません。

●本説明書に記載されていない取り付け、使用方法は絶対に行わないでください。

●本商品を改造しての取り付けは、絶対に行わないでください。

●作業の安全性と信頼性確保のため、取り付け・取り外しの作業は、必ずマツダ販売店・自動車整備事業者にて実施してください。

●本商品の取り付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。

●記載事項をまもらなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●取り外した部品の紛失や傷つき、脂などの異物付着がないよう、十分注意してください。

取り付け販売店の方へ

取り付け完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。

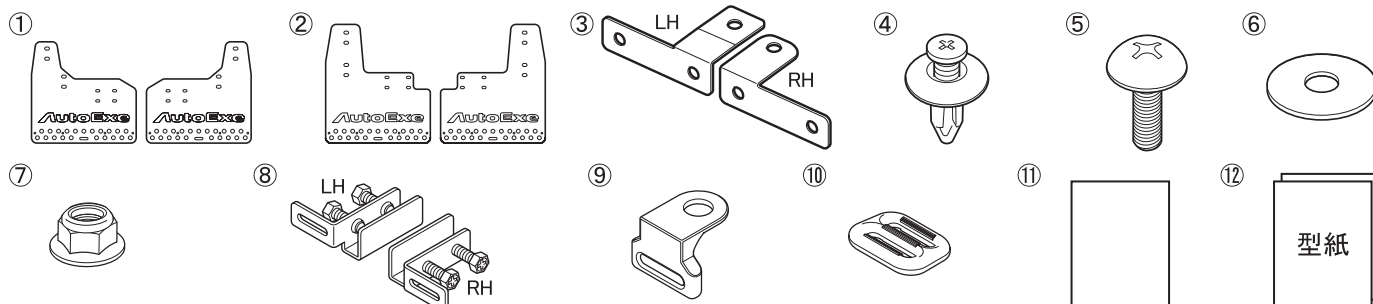
お客様へ

●本説明書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取り付け完了後も大切に保管してください。

●本商品を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず本説明書もあわせてお渡しください。

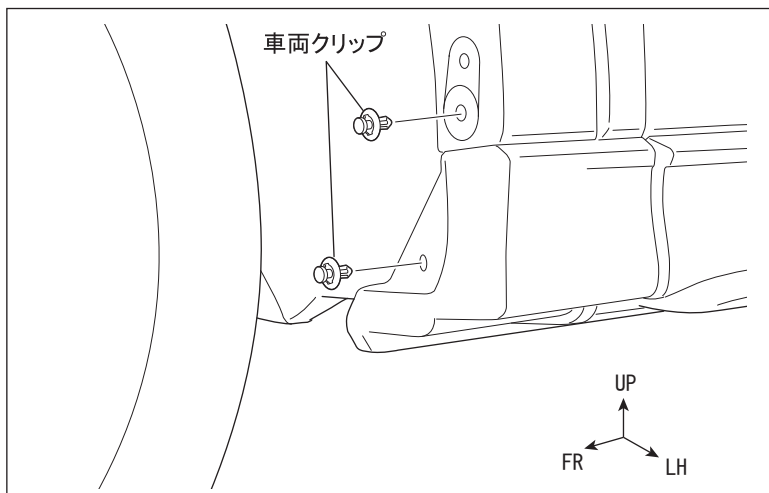
1. 構成部品

No.	部品名称	仕様	数量	No.	部品名称	仕様	数量
①	フロントマッドフラップ LH/RH		各 1	⑦	フランジ付きナイロンナット	M6	8
②	リヤマッドフラップ LH/RH		各 1	⑧	ベルトつりブラケット A LH/RH	フロント用	各 1
③	ブラケット LH/RH		各 1	⑨	ベルトつりブラケット B	リヤ用	2
④	プッシュリベット		8	⑩	ベルトアジャスター		4
⑤	トラスボルト	M6 × 20mm	8	⑪	取付／取扱要領書	本書	1
⑥	ワッシャー	M6	8	⑫	型紙	2 種類	各 1



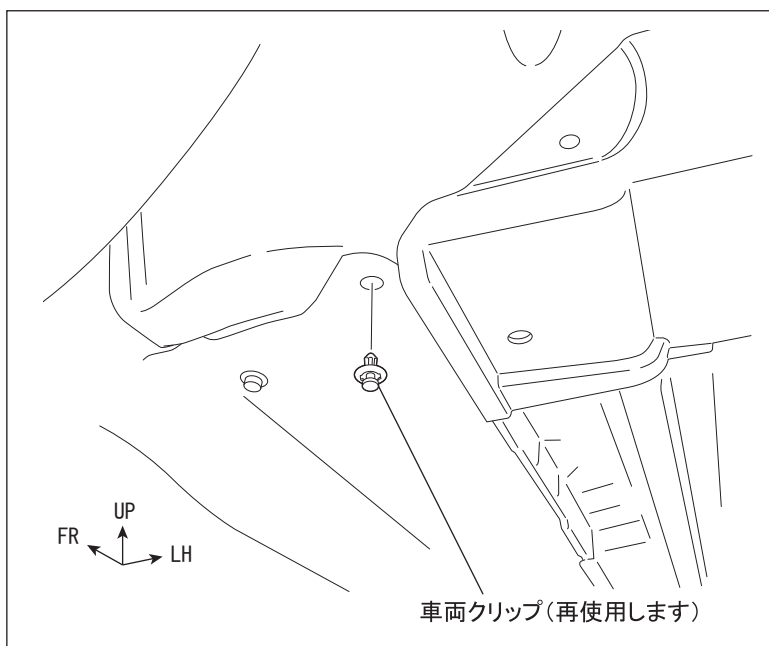
2. フロントマッドフラップの取り付け

本書は車両左側で記載してます。反対側（右側）も同様に作業してください。



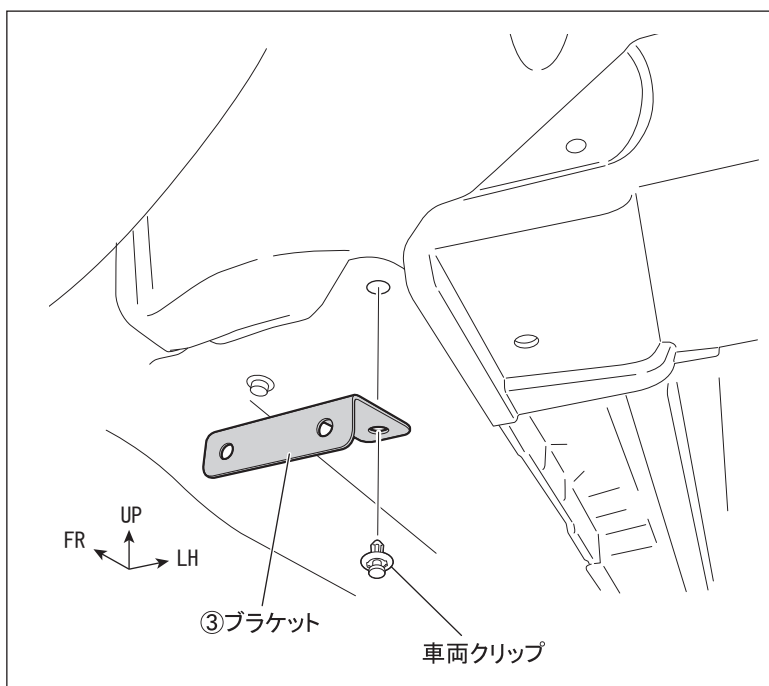
1. タイヤハウス後方の車両クリップを取り外します。

取り外した車両クリップ（左右各 2 箇所）は再使用しません。



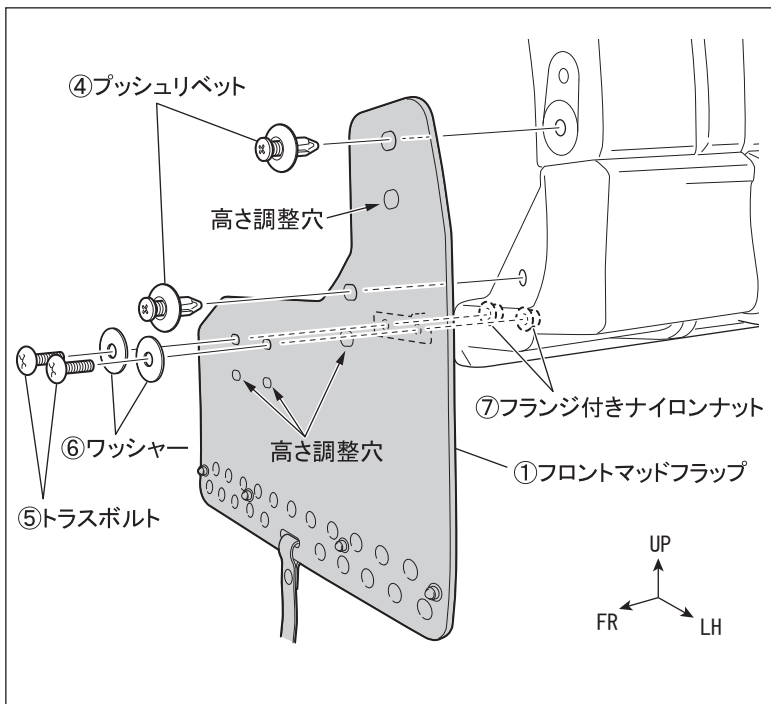
2. 車両下部の車両クリップを取り外します。

取り外した車両クリップ（左右各 1 箇所）は再使用します。紛失や破損に注意してください。



3. 取り外した車両クリップを使用して、③ブラケットを取り付けます。

③ブラケットは左右で形状が異なります。取り付けの際は左右を間違えないように注意してください。



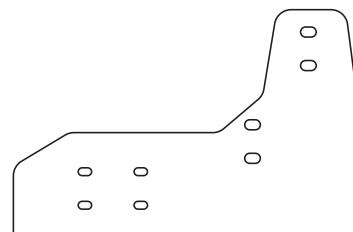
4. ①フロントマッドフラップを④プッシュリベット、⑤トラスボルト、⑥ワッシャー、⑦フランジ付きナyroナットで仮組みします。

①フロントマッドフラップの固定穴は取り付け高さを調整できるよう上下に穴があいています。取り付ける車両の車高によって固定穴を選択してください。

上側：ノーマル車高、及び

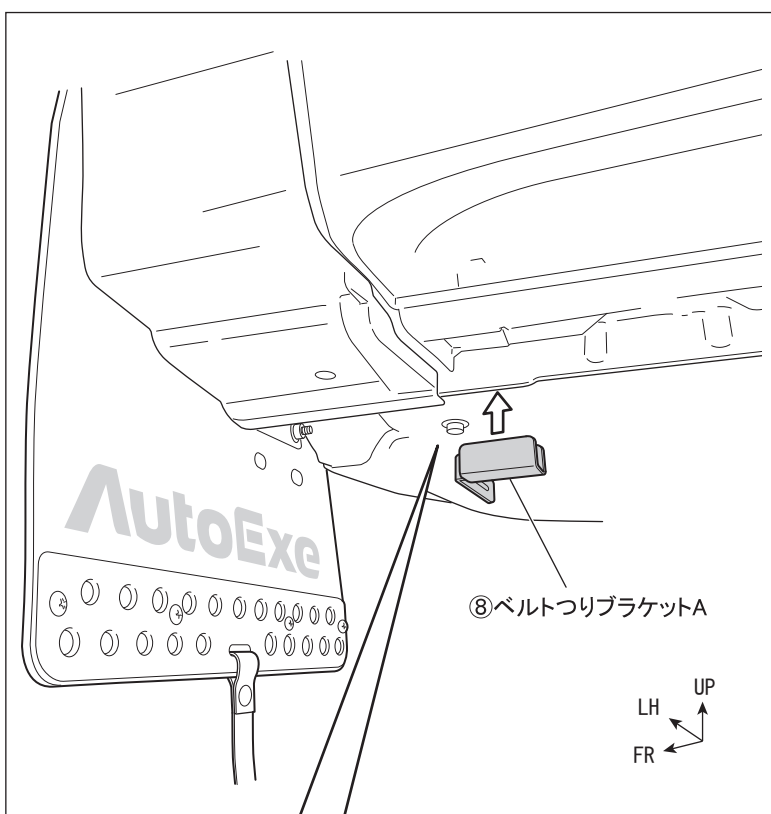
AutoExe 製 A/X サス・キット装着車

下側：AutoExe 製ストリートスポーツサス・キット装着車

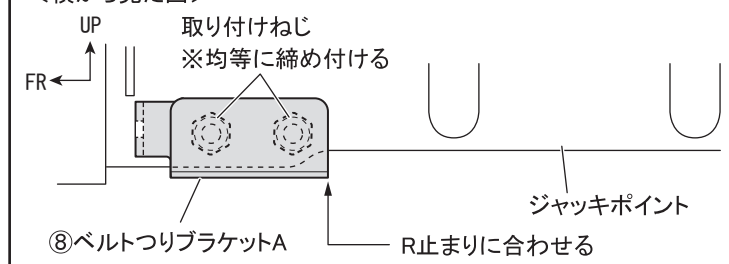


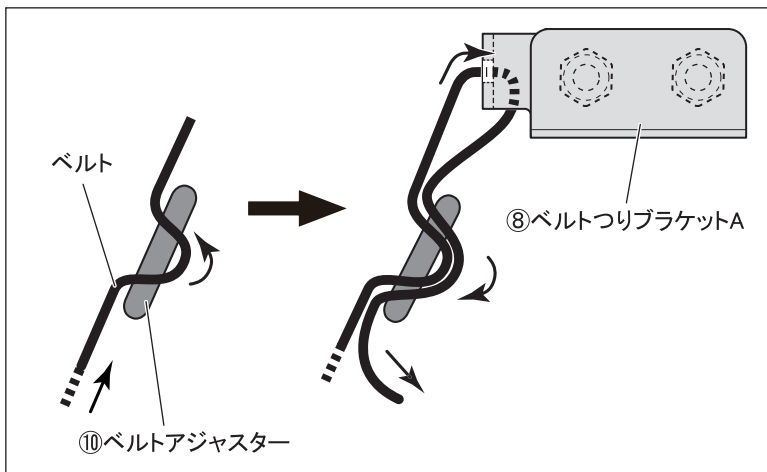
5. 車両の左右に①フロントマッドフラップを取り付け傾きや出幅を整え、仮締め部を本締めします。
6. 車両下側のジャッキアップポイントに⑧ベルトつりブラケット A を取り付けます。

- ・ ⑧ベルトつりブラケット A の取り付けは左右を間違えないように注意してください。
- ・ ベルトの通し穴が車両前方で内側になるよう取り付けてください。

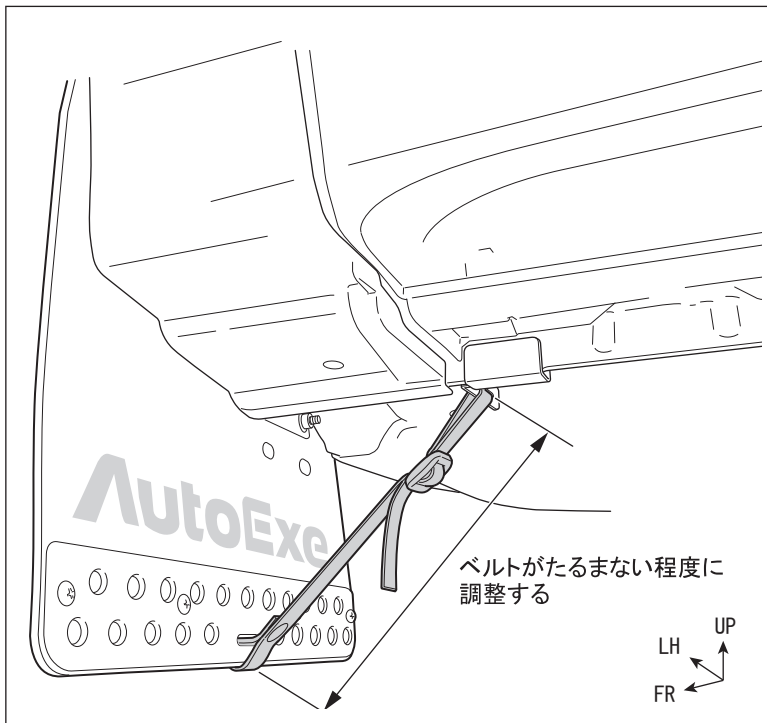


<横から見た図>



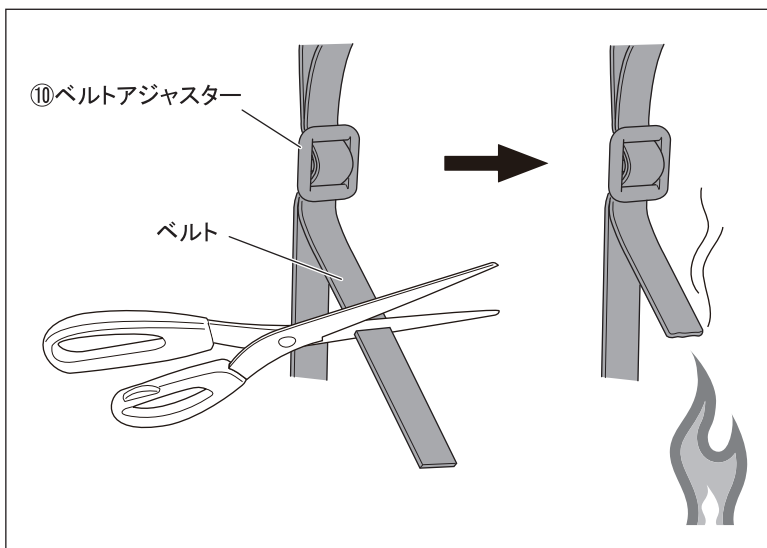


7. ①フロントマッドフラップのベルトを⑧ベルトつりブラケット A と⑩ベルトアジャスターに通します。



8. ①フロントマッドフラップのベルトがたるまない程度に調整し、左右のバランスを整えます。

※ベルト参考長さ：195 ～ 200 mm



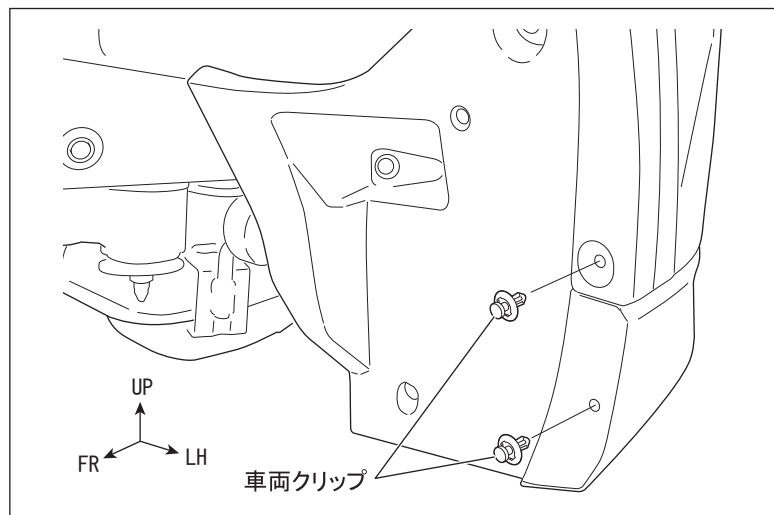
9. ベルトの余った部分を 5cm 程度残して、ハサミでカットします。

10. ほつれ防止のため、カットしたベルトの端をライターなどであぶります。

火気の使用については取り付けを行う整備工場のルールに従い、代替品を使用するなどし安全に作業を行ってください。

3. リヤマッドフラップの取り付け

本書は車両左側で記載してます。反対側（右側）も同様に作業してください。

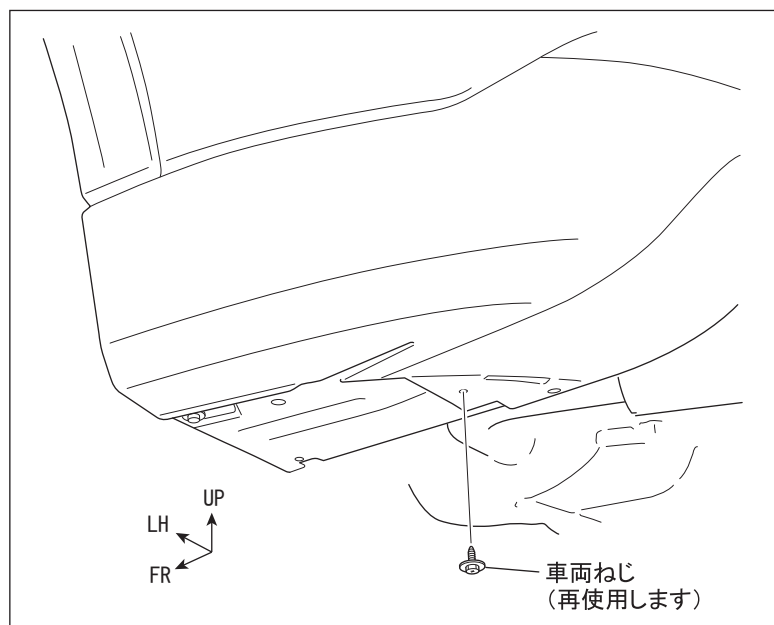


1. タイヤハウス後方の車両クリップを取り外します。

取り外した車両クリップ（左右各 2 箇所）は再使用しません。

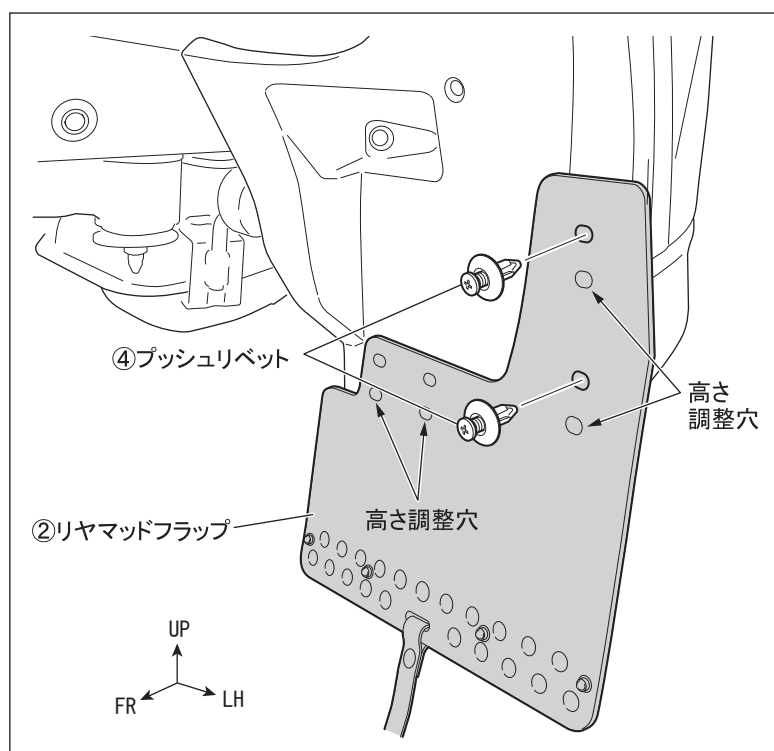
☆シグネチャースタイル、プークロス装着車両は穴位置を型紙 A に合わせて左右各 1 箇所、穴をあけてください。

☆車体番号～ 499999 の車両は型紙 B に合わせて、左右各 2 箇所、穴をあけてください。



2. 車両下部の車両ねじを取り外します。

取り外した車両ねじ（左右各 1 箇所）は再使用します。紛失や破損に注意してください。

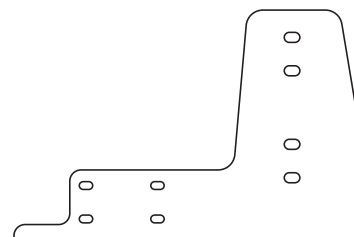


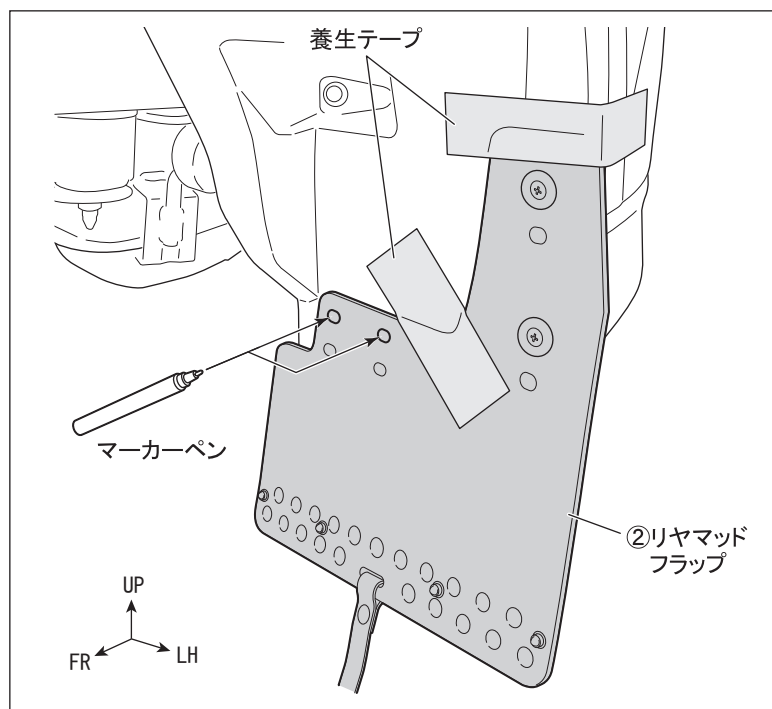
3. ②リヤマッドフラップを④プッシュリベットで仮固定します。

②リヤマッドフラップの固定穴は取り付け高さを調整できるよう上下に穴があいています。取り付ける車両の車高によって固定穴を選択してください。

上側：ノーマル車高、及び
AutoExe 製 A/X サス・キット装着車

下側：AutoExe 製ストリートスポーツサス・キット装着車

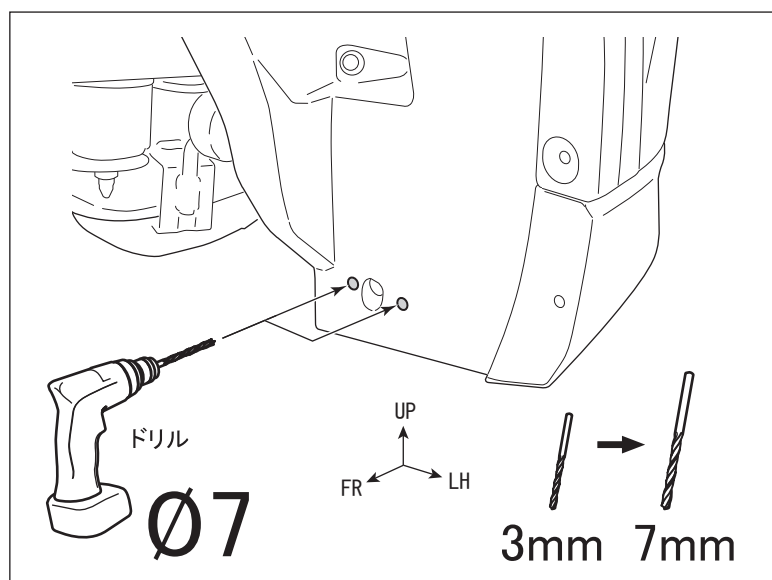




4. 車両の左右に②リヤマッドフラップを仮固定し傾きや出幅を整え、位置が変わらないように養生テープで固定します。
5. ②リヤマッドフラップ内側の穴 2 箇所をマーカーペンでマーキングします。

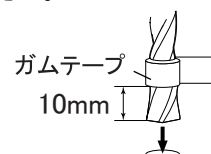
長穴の中心をマーキングしてください。

6. ②リヤマッドフラップをいったん取り外します。

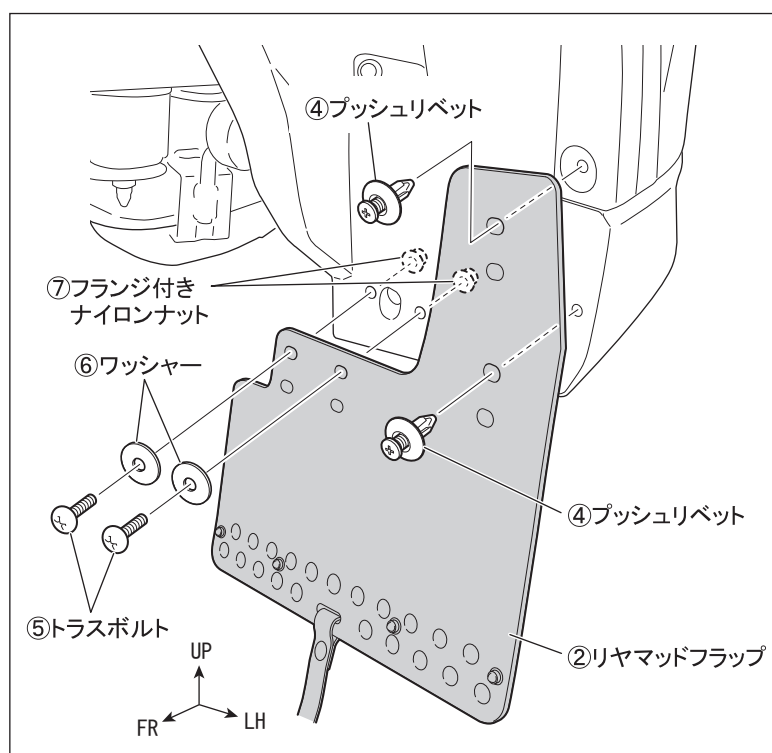


7. フェンダーライナーのマーキング位置に Ø3 のドリルで下穴をあけ、最後に Ø7 のドリルで本穴をあけます。

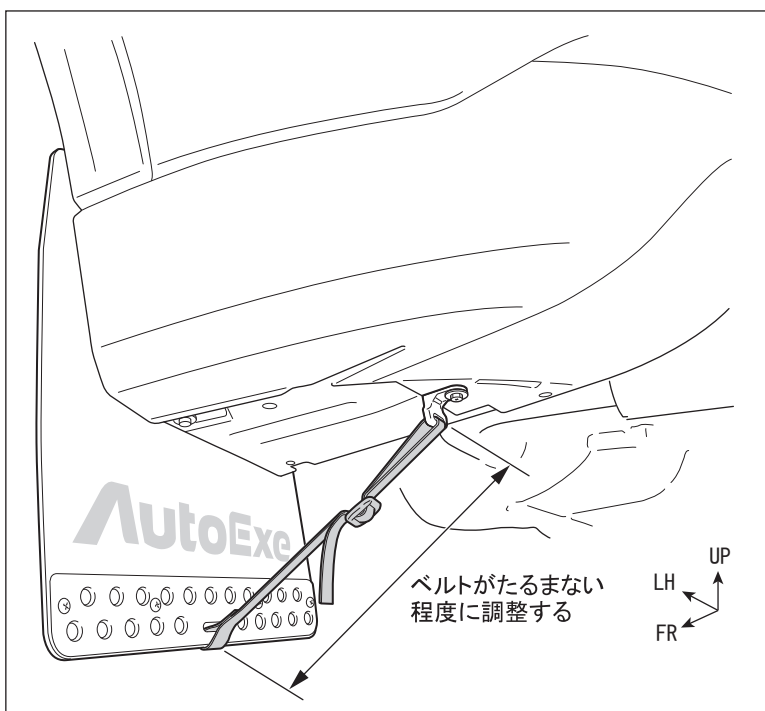
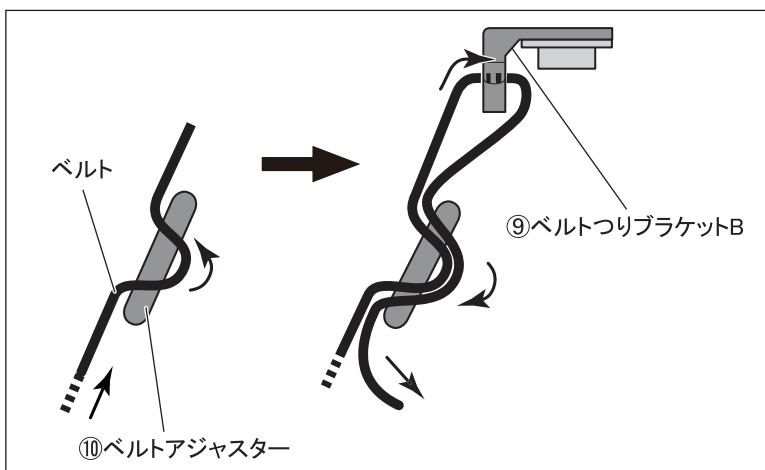
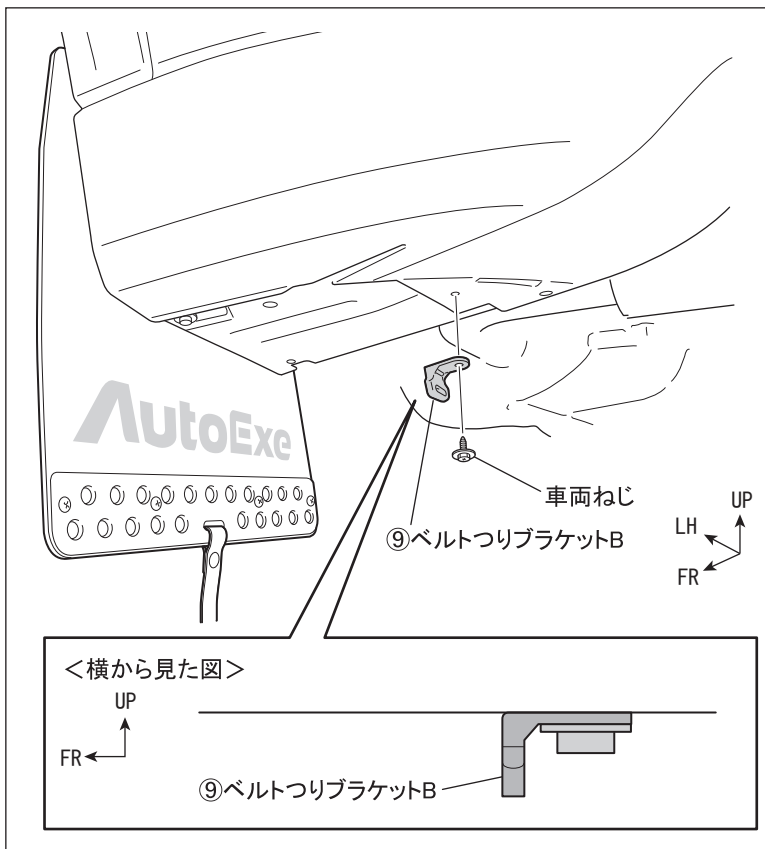
ドリルの刃にガムテープを巻き付け、突き抜け防止策を施してください。

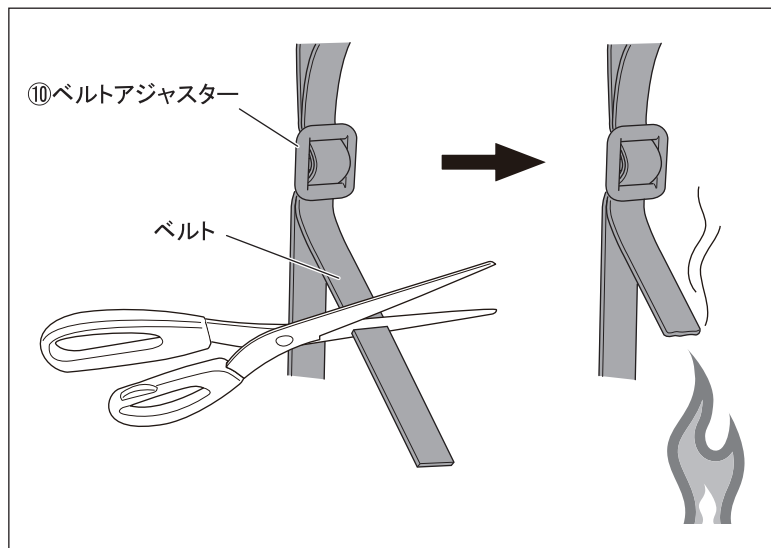


8. 穴あけ後、加工穴周囲のバリを除去します。



9. ②リヤマッドフラップを④プッシュリベット、⑤トラスボルト、⑥ワッシャー、⑦フランジ付きナイロンナットで仮組みします。
10. 車両の左右に②リヤマッドフラップを取り付け傾きや出幅を整え、仮締め部を本締めします。





14. ベルトの余った部分を 5cm 程度残して、ハサミでカットします。

15. ほつれ防止のため、カットしたベルトの端をライターなどであぶります。

火気の使用については取り付けを行う整備工場のルールに従い、代替品を使用するなどし安全に作業を行ってください。

4. 取り付け後の確認

1. 作業完了後は必ず取り付け確認を行ってください。ねじ類の締め忘れなどにより本体が脱落するおそれがありたいへん危険です。

- ・すべての組み付けが完了したらマッドフラップを揺さぶり、異音がないことを確認します。
- ・各ねじの締め付け部をもう一度締め付け、増し締めされていることを確認します。

2. 保安基準に適合させる為に 90mm 以上の最低地上高を確保してください。

- マッドフラップを装着した場合、路面とのクリアランスが狭くなり、縁石などの段差に干渉し易くなります。また、積雪時にラッセルしたまま走行したり、凍結（着氷）状態で使用した場合、車両やマッドフラップ及びその関連部品が破損する恐れがあります。
- 金属部品にかかっているブルーのシートは保護フィルムですので装着前に剥がしてください。
- 破損や盗難などによる片側ずつの補充はできかねますのでご了承ください。
- 走行前には、必ず各部の取り付けや締め付けを確認し、ゆるみが出ていた場合は再度締め直してください。
- 本体が汚れた場合は、中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジなどで軽く水洗いしてください。強くこすると印刷部分が剥がれることがありますので絶対にしないでください。また、パーツクリーナーやシンナーなどの有機溶剤は素材を傷めますので使用しないでください。